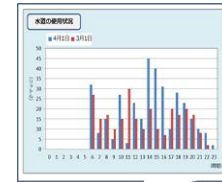


水道スマートメータの導入について

- 2030年代までに都内全戸へ導入
- 2022年度から10万個規模の実証実験を開始

スマートメータ導入により、**都内の水の流れやお客さまの使用状況が瞬時に把握可能 ⇒ 水の「見える化」を実現**

- ・ 水道事業の高度化・効率化
- ・ 新たなお客さまサービスの創造
- ・ ビッグデータとして社会全体へ活用



時刻	消費水量 (L)
0:00-1:00	000
1:00-2:00	000
2:00-3:00	000
3:00-4:00	000
.....
.....

実証実験（トライアルプロジェクト）の主な取組

○都内の様々なエリアにスマートメータを設置

- ・ **漏水検知の早期化**や**施設規模の最適化**を検証
- ・ **長寿社会を見据えた見守りサービス**など、**新たなお客さまサービス**を展開



○他業界・他都市との連携

- ・ **電気・ガス業界と連携**したビッグデータ活用
- ・ **他都市との連携拡大**による市場形成の促進



主な導入場所

- 再開発地域
(選手村用地、泉岳寺 等)



©晴海五丁目西地区第一種
市街地再開発事業特定建築者

- スマート東京先行実施エリア
(西新宿等)



- 建替後の公共集合住宅

- スマート化に取り組むエリア
(大丸有、竹芝等)

主な導入場所

○様々な用途エリア（候補）

※2021年度正式決定予定

- 首都中枢地域（霞が関、立川）
- 住居地域（世田谷区上用賀）
- 商業地域（文京区本郷）
- 工業地域（大田区昭和島）
- 山間部（青梅） 等